



宮城本校同窓会会長

廣田長崎西高校長

平成20年6月21日

第 11 回 総 会

参加者 180名



白石福岡同窓会会長

受付風景

頼もしい同期

昨年六月十五日博多座で歌舞伎鑑賞した帰り、「今から福岡西高同窓会に行こう?」との先輩の一言が一年間の回生幹事の開始であった。西高同窓会是在京同期の集まりや東京同窓会に参加した経験があったが、福岡の状況はよく判らなかつたのが実情であった。懇親会終了間際に回生幹事の先輩諸氏より「来年の回生幹事だから壇上に出てハッピを受け取り、年長者より、来年の抱負を話せ。」の指示で、あれよ、あれよで幹事引



3回生

総会風景

藤澤 淳一 (13回)

き継ぎ終了。「さてどうしましょう?」が偽らざる感想であった。

以来、役員会、回生幹事会等々、一年間過ぎればあつという間であつたが、果たして何が出来たかまだ実感が無い。最初の会合は湯川さんと二名だけの参加であり、後輩回生幹事の皆さんより「13回生は何人参加してただけですか?」との問いかけには何も答えることが出来ないことが一番の苦痛となった。

福岡同窓会の会員登録は二十五名であつたが、自分は登録なしで、果たして同じ回生の人に参加を訴えることが可能か判らないまま、全員に手紙で実情を訴え、参加を募つた。喜ばしいことにすぐに



ザ・タッツの演奏

制服を着た元乙女達 33回生

反応があり、回生幹事会に三名も応援参加してくれたことは、ほっとしたと同時にやはり同期は頼もしいとの思いで一杯になった。会場準備のリーダーを、久保君が引き受け、受付も鹿谷君・宮本君・湯川さんが立つてくれることで、13回生は裏方参加に徹することになった。アトラクション・恩師連絡は23回生・33回生が引き受けてくれた。本当に大変なことであつたし、感謝の念を禁じえない。同窓会当日はさらに三名の追加参加があつて九名が一堂に会したことはうれしい限りであり、本校同窓会の宮城会長を入れての、二次会も有意義であつた。

尚、13回生は「昨年のおくんち」に長崎にて、百名余りが参加して、盛大な同窓会を開催している。



懇親会風景

当番幹事を振り返って

大久保 正興 (33回)

私、今年の福岡同窓会懇親会の当番幹事を務めました。今年度の福岡同窓会の当番幹事について振り返ってみました。思います。

そもそも、私が福岡同窓会に参加したのは、昨年初めてでした。それは、久々に福岡転勤となり、九州に戻れたという嬉しい気持ちも手伝い昔の友人たちに会いた



願い、幹事の打ち合わせに出席してくれる同期生も徐々に増えていきました(最終的に同窓会には八名が出席)。特に女性陣の元気さと明るさには大いに助けられ、事前の準備から当日は制服姿での登場と恥ずかしさもあつたとは思いますが、あの会場の盛り上がりを見れば大成功の企画だったのではないかと思っています。また同じ当番幹事の23回生の先輩方がアトラクションの出し物について、長崎在住の西高卒業生である「ザ・タッツ」にバンド演奏してもらうという企画を既に練ってくれていたため、アトラクションをどうするかという事に悩む必要がなく助かりました。

しかし、私、当番幹事としては、同窓会までの準備をどうしたらいいのか段取りの悪さもあり他の当番幹事の皆さんには迷惑をお掛けしたなと反省しきりですが、役員・当番幹事の皆さんの助言、また準備・運営で陰ながら活躍して頂いた方々、司会の仕切りの良さと書き尽くせない方々の協力で無事同窓会を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

また、十年後に当番幹事が回つてきますが、その時は、諸先輩方はもちろんの事、33回生も元気に集い、若い回生と共に会を盛り上げる事が出来ればと思っています。



第 6 号

発行 長崎西高福岡同窓会

連絡先 福岡市南区若久5-36-5

於 保 裕 子

☎/☎092-541-1035

E-mail adq67280@rio.odn.ne.jp

題字は南川健二氏 (7回)

平成20年度長崎西高福岡同窓会総会・懇親会出席状況

卒業回生	名簿人数	年会費 1,000	年会費 納入率	総会・懇親会出席		総会・懇親会 6,000	出席率	前年対比 (増減)
				男性	女性			
旧職員	8	2	25.0%	2	1	3	37.5%	2
瓊中回	32	20	62.5%	4		4	12.5%	2
1回生	3	2	66.7%					0
2回生	6	4	66.7%					-1
3回生	11	9	81.8%	1	1	2	18.2%	1
4回生	26	9	34.6%	2		2	7.7%	0
5回生	18	12	66.7%	1	1	2	11.1%	-5
6回生	20	12	60.0%	1	3	4	20.0%	-2
7回生	18	17	94.4%	4	3	7	38.9%	0
8回生	21	15	71.4%	1	5	6	28.6%	1
9回生	18	14	77.8%	1	3	4	22.2%	0
10回生	10	4	40.0%					-1
11回生	16	9	56.3%	1		1	6.3%	-1
12回生	32	25	78.1%	8	7	15	46.9%	-1
13回生	25	11	44.0%	5	3	8	32.0%	6
14回生	36	17	47.2%	4	2	6	16.7%	-3
15回生	28	24	85.7%	6	3	9	32.1%	0
16回生	20	6	30.0%					0
17回生	21	12	57.1%	5		5	23.8%	0
18回生	24	8	33.3%	5		5	20.8%	2
19回生	28	12	42.9%	3	1	4	14.3%	1
20回生	7	5	71.4%	1		1	14.3%	1
21回生	24	10	41.7%	4		4	16.7%	2
22回生	17	6	35.3%		1	1	5.9%	0
23回生	26	14	53.8%	9	5	14	53.8%	8
24回生	30	13	43.3%	4		4	13.3%	1
25回生	40	12	30.0%		5	5	12.5%	1
26回生	8	5	62.5%					0
27回生	18	8	44.4%					0
28回生	18	11	61.1%	2	2	4	22.2%	2
29回生	28	13	46.4%	6	4	10	35.7%	5
30回生	35	9	25.7%	7		7	20.0%	2
31回生	24	12	50.0%	4	6	10	41.7%	6
32回生	16	6	37.5%	2	2	4	25.0%	-6
33回生	25	10	40.0%	2	6	8	32.0%	7
34回生	4	1	25.0%	1		1	25.0%	0
35回生	2	1	50.0%					0
36回生	17	5	29.4%	3		3	17.6%	-1
37回生	6	1	16.7%					-2
38回生	18	8	44.4%	3		3	16.7%	0
39回生	7	1	14.3%	1		1	14.3%	0
42回生	16	1	6.3%					0
43回生	13	1	7.7%					0
46回生	9	1	11.1%		1	1	11.1%	1
48回生	4	1	25.0%					0
50回生	2	1	50.0%	1		1	50.0%	1
53回生	2	1	50.0%	1		1	50.0%	1
54回生	2	1	50.0%		1	1	50.0%	0
合計	882	402	45.6%	105	66	171	19.4%	28

自律の学び舎で



天野 紘(国語)
教鞭をとることになろうとは思っても寄らないことであつた。(現在は九州龍谷短大に勤務)

四十年前ほど前、大学を卒業して、初めての教員生活を、初めての長崎で始めたのが長崎西高である。浦上駅から三菱製鋼所の間を通り抜け、遅刻坂を登る。ちょうど新校舎の建設中であつた。昭和四十三年春のことである。

四年間は通信制に籍を置きながら、全日制の授業を担当した。その後全日制に移ったのだが、当時国語科には早田立秋先生がおられ、放送部の顧問をしておられた。挨拶に行くと、突然私に放送部の顧問にしたからとのことであつた。本人の了解などまったくなしにである。当時二十代の私は、黙って引き受けざるをえなかった。しかし、その放送部の顧問を四十年にわたってすることになり、さらにその放送関係の学科の短大で

思い出すいつ



昭和三十五年入学15回生の奥田です。昭和三十五年というと六十年安保後の殺伐とした中で、下村理論に基づいた所得倍増計画という景気のよい話を掲げて池田内閣が発足した年です。私は、訳が分からないまま本当にそんなことがあり得るのかなと思っていました。

今の生活水準からすれば当時はまだ日本が貧しかったころですが、今と比較して貧しい生活をしていたという記憶

奥田 邦夫(15回)

はありませんが、何でも物を大切にして育ったことは間違いないありません。この感覚が今もって身に染み込んでおり、何でももつたいたなくてなかなか物を捨てきれません。西高に入つたときは、教室は裸電球で、校舎も古く土足も禁止で、少しガツカリしましたがすぐに慣れました。当時は浦上川がどぶ川のように汚くて、その川を満ち潮の時にボラが海の方からあがってくるのには生命の力強さを感じて驚いた記憶があります。高校生活の中で特に青春を感じたことはありません。何となく流れるままに三年間をだらだらと過ぎて卒業したという感じ

の始まりは、この放送部顧問ゆえのことである。

ある著名な数学者がおつしやつた、「祖国は国語である」と。西高の同窓生諸君、日本語を大切にする機運を盛り上げてほしい。さもないと変な日本語を話す日本人ばかりになり、やがて日本はなくなつてしまふ。

「存知のとおり、西高の校訓は「自律」である、「ほかからの束縛を受けず、自分で決めた規則に従うこと」。当時の生徒は、まさに自分の規則に従つて行動できた。よい生徒ばかりであつた。

管理棟が新校舎になりはしたものの、図書館が現在の「柏の森」の所にあつたし、理科教室などの棟はまだ木造の二階建てで少し傾いていたように記憶している。当時はまだ宿直があつて、真夜中の木造校舎の廊下を歩くのには相当地な勇気が要つたものである。当直の夜には、当時用務員だった越山さんにとってもお世話になつた。

鮮やかな制服の一年生が笑顔で登校、夏は校庭の榎の蟬と競争して大声で喋りどおしの補習授業、クローラーのない時代のこと、暑さに負けるな、心頭滅却すればよいってハッパをかけた。運動会は「もし教」に人気集中、近所の子供も応援に駆けつけてくれた。クラスが一つにまとまつた。そして終わると三年生は受験一色、自律の学び舎に厳しさが漂つた。秋のグラウンドは南京ハゼがうす黄色に色づき、そして赤く、やがて北風に散る頃は厳しい冬が訪れる。

耐寒訓練で息を切らして駆け上つた福佐山。そういえば朝の遅刻坂もきつかつた、白い息を吐きながら登校していた光景が今も目に浮かぶ。

三月、難関突破の生徒が遅しかつた。蛍の光に送られて、教える子は、全国に飛び立って行つた。それから何年、自律の子らは教師を超えた。

西校同窓生に幸あれ！
竹の久保に春が来て、桜の花が咲き乱れ、「W」文字もです。高校一年のとき何か運動しようと思つた部に入りましたが、運動神経が悪くて数ヶ月で退部しました。運動会では孟宗竹を組んで櫓を作つてその上から応援したり、仮装行列をしたように記憶しています。私は音楽が極端に苦手、皆から音痴と呼ばれ劣等感を持つていました。今から考えると私の音痴は、当時私がミファとシドの間が半音になつていてことを知らなかつたのが原因のように思えます。それで高校に入つたら音楽は選択科目でしたのでこれ幸いと音楽は取らずに美術を取りました。美術では絵は年間二枚出せばよく、あとは割と自由に時間を過ごすことができました。そこで春に絵を半分描きかけて、後は遊んで、

同窓会をうーんと楽しんでます！



山田 みち代(23回)
六五〇名もいればお互い顔も名前も良くは知らない人が多い。しかし、同窓生マジックとでも言おうか、昔からの仲の良いクラスメートのように気持ちも話も弾んだ。長崎と福岡、準備から本番終了後も、後毎年出席。旧交を温めたり、先輩後輩との新たな出会いを楽しんでいる。

七年前、司会をさせませんか？と後輩の山口一雄君に誘われたのがきっかけで、その後毎年出席。旧交を温めたり、先輩後輩との新たな出会いを楽しんでいる。

西高時代放送部に所属していたが、当時の部長さんだった石井勝典さんが、平成十五年の同窓会に西高校長として来られ、爽やかに校長挨拶された時には、懐かしさで胸がいっぱいになった。

アナウンスの基礎を身に付けたのは、西高時代。石井さん達の発声法を後輩部員は一生懸命真似た。福岡同窓会で再会したとき、高校時代には面と向かつて話が出来なかつた石井先輩と、西高の魅力について話し込んだ。



次回当番幹事の挨拶

次回は4のつく
回生です。

有 限 会 社 クリーンメンテナンス
代表取締役 下 野 新 平
15 回 生 (ラグビー部)
〒802-0016 北九州市小倉北区宇佐町1丁目8-42
TEL(093)511-2898
FAX(093)511-2833
機 器 090-3603-1657

長崎西高福岡同窓会
ゴルフ同好会幹事 前 田 弘 文
(14 回)
保険代理店
〒815-0031 福岡市南区清水 4-1-24
電話 092-552-3022 FAX 092-541-2584

長崎西高福岡同窓会
顧問 山 崎 明 治
(9 回)
(第3代会長)
〒811-0212 福岡市東区美和台 7-10-4
電話 092-607-1967
eMail meijiya@jcom.home.ne.jp

社団法人全日本能率連盟認定(No.11340)
国際コンサルタント機構認定(No.11209)
マスター・マネージメント・コンサルタント
長崎西高福岡同窓会 顧問(初代会長)
4 回 生 (ラグビー部 OB) 峰 祥 躬
Mine Yoshimi
マネージメント・オフィス
〒811-1344 福岡市南区三宅 1-10-1
Phone&Fax 092-561-3582
E-Mail y-mine@jcom.home.ne.jp

長崎西高福岡同窓会
副会長 於 保 裕 子
(15 回)
広報委員
西高同窓会幹事
〒815-0042
福岡市南区若久 5 丁目 3 6-5

九州共立大学 教授
工学博士 江 口 弘 文
15 回
工学部メカエレクトロニクス学科
〒807-8585 北九州市八幡西区自由丘 5-1-8
TEL(093)693-3191
FAX(093)693-3078
E-mail: eguchi@kyukyo-u.ac.jp

TOBATA LIONS CLUB
長崎西高等学校福岡同窓会会長
白 石 広 海 (12回)
白石産業株式会社
会社 北九州市八幡西区本城御間2-5-22
TEL 093-602-2547 FAX 093-603-5906
自宅 北九州市戸畑区中本町1-1
TEL 093-882-2300 携帯 090-3604-2729
ホームページ http://hiro.or.tv/ メール hiro@or.tv

長崎西高福岡同窓会
顧問 楠 村 正 治 (7回)
(第2代会長)
福岡市東区香椎駅東 3-20-19
092-661-3684
fwka1679@mb.infoweb.ne.jp

医療法人 北九州病院
副理事長 森 田 順 之
(15 回 生)
〒803-0812
北九州市小倉北区室町3丁目1番2号
電 話 (093) 561-0039 番
FAX (093) 582-1103 番
E-mail: h-morita@kitakyu-hp.or.jp

長崎西高福岡同窓会
副会長 奥 田 邦 夫
(15 回)
〒803-0812
北九州市小倉北区室町3丁目1番2号
電 話 (093) 561-0039 番
FAX (093) 582-1103 番
E-mail: h-morita@kitakyu-hp.or.jp

長崎西高福岡同窓会
副会長 木 下 師 博
(14 回) 音楽部
勤務先 アーテック株式会社 代表
福岡営業所 〒814-0043
福岡市西区野方 2-24-16
電話(092) 811-5681(FAX(092) 811-5680
E-Mail kinoshita@arttech.co.jp
URL http://www.arttech.co.jp

日本医療機能評価機構認定病院
内科 医師
中河原 孝
(8 回 生)
医療法人 光洋会 赤間病院
〒811-4147 福岡県宗像市石丸一丁目6番7号
TEL(0940)32-2206 FAX(0940)33-5957
http://www.akama-hp.or.jp

平成19年度 長崎西高福岡同窓会 会計報告

自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	内 訳	金額 (円)	科目	内 訳	金額 (円)
繰越金	前期繰越金	501,120	事業費	総会および懇親会 ホテル会場費 謝礼・その他	951,144
年会費	1,000円×393名	393,000		広報誌製作	112,980
総会および 懇親会費	6,000円×142名 祝金	852,000 60,000	会議費	幹事会・広報委員会会場費等	68,685
雑収入	会報広告費	88,000	事務費	ラベル・用紙・印刷・文等 振込み手数料	12,798 27,115
	預金利息	551	通信費	案内状送付・返信はがき他	204,855
			対外費	香典 弔電 祝儀	40,000 9,450 30,000
			雑費		11,605
			次期繰越金		426,039
計		1,894,671	計		1,894,671

同窓生バンド「ザ・タッツ」

頼田 博 (23回)

先日、アークホテル博多ロイヤルで開催されました長崎西高福岡同窓会でバンド演奏をさせていただきました「ザ・タッツ」です。

その節は大変お騒がせいたしました。当日の会場でも簡単にご紹介いただきましたが、改めてバンドの紹介をさせていただきます。

長崎では「辰巳会」という23回生の同窓会（生年の干支が辰と巳）があり、年に二回程度の同窓会を開いています。平成十八年十月に辰巳会の有志七、八名が集まり、バレーキュー会を行いました。その席で、ギターを弾んで懐かしいフォークソングやポップスを皆で歌い大いに盛り上がり、勢い余ってバンドをやろうということになりました。

現在、レパートリーは十数曲ありますが、なんとか人に聞かせるレベルにあるのは数えるほどしかありません。今回の福岡同窓会で披露したのがその全てみたいなものです。時々、行きつけのライブスナックで即興のミニライブみたいなことはやっていましたが、今回のような大勢の観客を前に演奏したのは初めてでした。

同窓会という和やかな雰囲気の中で、適度な緊張感をもって演奏し、皆さんと共に楽しい時間を過ごすことができ、本当によい思い出になりました。

出演が決まってから打合せなど色々とお世話になりました23回生の草野（旧姓）るりこさん、山田（旧姓）みち代さんを始め幹事の皆様、本

敬愛する宮田亮子先生に贈る

秋元 希 (旧姓 岩本) (54回)



西高を卒業して六年、日々の暮らしに忙殺され、高校生活をすっかりと振り返ることが出来ないでいました。今日、ここにこのような機会を頂きましたので、この場をお借りして、恩師への感謝を述べたいと思います。

二〇〇一年五月十四日、長崎西高で国語を教えていた宮田亮子先生が亡くなられたとき、私は放送部の三年生で、目前に迫った全国放送コンテストの地区大会に出品するため、仲間たちとテレビ番組の編集に追われていました。放送部の顧問として、アナウンス部門で全国優勝、全国三位と立て続けに生徒を入賞させてきた宮田先生は、半年ほど前から乳がんの治療のため休職しており、私たちは再び宮田先生の指導を受けることが出来るよう、部員一丸となつて、ご苦労様でした。

長崎西高福岡同窓会の益々のご盛況を祈念いたします。来年、長崎で開催予定の全体同窓会に都合のつく方は是非参加してください。ザ・タッツが出演しているかも。

て練習に取り組んでいるさなかでした。忘れもしないあの日、帰りのホームルームで宮田先生の悲報を聞き、私たち放送部員は思わず立ち上がっていました。なぜ？どうして？

ホームルームの後、部室に駆け込んだ放送部テレビ班一同は、現実をしっかりと受け入れられないまま、大きな決断を下しました。

宮田先生を題材に、テレビ番組を制作しよう。

地区大会まで後二週間、すでに他の題材で番組を制作するため、台本を練って撮影まで終わらせていましたが、急遽、宮田先生への思いを番組のかたちで残そうと決めました。不謹慎にもなりかねない題材でしたが、御家族の御理解と御協力をいただき、告別式の様子から御遺族のインタビューまで撮影させていただきました。

しかし、残された時間はごくわずか。毎日夜遅くまで残って、晩御飯片手に編集を続

けました。授業をさぼってこそり放送室に忍び込み、音響機器と向かい合ったことも少なくありません。また、部員それぞれの先生への想いを形にする過程で、何度も何度もぶつかり合いました。台本の一字一句や、BGMの選曲をめぐる、時には涙を流し、言い争い、部室の中で椅子を投げあつたこともありました。

そうして何とか完成させた約五分の番組「最後の贈り物」は、他校の放送部員や先生方のアドバイスまでいただき、最終的には全国大会で四位入賞を果たしました。

宮田先生、先生の笑顔を決勝の舞台、NHKホールで流すことは出来なかつたけど、私たちは先生がどう生きて、何を伝えようとしたのか、一生懸命考えることが出来ました。それは今でも大きな大きな財産となっています。あるとき本気でけんかして、一緒に涙した友人たちも、かけがえの無い存在です。

先生、本当に、ありがとう。

次回総会

日時：平成21年6月13日(土) 16時～
場所：JALリゾートシーホークホテル福岡
会費：7,000円(含年会費1,000円)



今年は異常な猛暑に最近では電車も不通になるような局地的な大雨が降り、天候不順の夏ですが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

今回の広報誌には、期せずして日本の教育を愛え論じ、或いは教育に示唆を与えるような随想が多く集まりました。執筆の皆様のご協力に感謝しています。

さて総会でもお願いしました、予算不足による広告掲載の件ですが、新たに六件の申し込みを頂きました。これもありがとうございました。来年はもう少し増やしたいと思っております。今後とも皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

29 回生 (20 年度参加者一覧)	
大町 彰紀	片山英一郎
川口晋太郎	末吉真理子
戸川 純一	藤川すず子
本田 夏木	山口 雅彦
花田 玲子 (回生幹事)	平松 一雄 (事務局長)

長崎西高福岡同窓会

事務局次長 綾 部 圭 太
(30回) バレー部

綾部不動産鑑定株式会社
〒810-0001
福岡市中央区天神 4-8-2 天神ビルプラス 6F
TEL092-600-8414 FAX092-716-4280
E-Mail krayabekantei@har.bbq.jp

三宅二丁目教室・日佐教室

KUMON

算数・数学・英語・国語・幼児

井 上 り 子
(23回)

(三宅二丁目) 福岡市南区三宅 2-1-7 〒811-1344
TEL/FAX: 092-552-8822
(日佐) 福岡市南区日佐 3-19-14 〒811-1311
TEL: 092-574-7425
http://www.kumon.ne.jp/

長崎西高福岡同窓会

副会長 柳 瀬 雅 子
(25 回) 剣道部
西高句会メンバー
合気道：祥平塾
健康コンサルタント

E-mail : masako.yanase@jp.fujitsu.com
いつまでも元気に、生き生きと！
気になることは早めにご相談ください。
同窓生：無料 (〃。〃)

陣の内脳神経外科

院長 陣 内 敬 文 (25回)

〒816-0802 春日市春日原北町3丁目63
(西鉄春日原駅西口 福銀オク)
Phone : 092-582-3232
脳ドック専用：090120-083-222
http://www.JNS.info

セブン-イレブン 福岡野多路店

内 野 玲 子 (23回)

〒811-1347 福岡市南区野多2-28-16
電 話 092 (565) 5508
那珂川病院向い

ISUZU いすゞ自動車九州株式会社
(福岡・佐賀・長崎・大分県)

代表取締役社長 満 崎 周 夫
(23回) コーラス部

〒812-0055
福岡市東区東浜1丁目10番85号
TEL 092-641-7711
FAX 092-641-7744
E-mail:chikao_mizusaki@notes.kyushu.isuzu.co.jp

九州明乳販売株式会社

宮崎営業所

所長 立 石 勝 英 (23回)

宮崎県宮崎県宮崎市大字加納1927番地1号 〒889-1605
TEL(0985)85-8852 (代)
FAX(0985)85-8861
E-mail:katsuhiko_tateishi@q-meihan.com 再生紙

住宅検査保証協会
国土交通大臣登録住宅性能評価機関第12号

代表取締役社長 大場 喜和
評価員・一級建築士

創道部 22回生

検査情報掲載ホームページ
http://www.njk-inc.co.jp

監住宅検査保証協会
本社:〒130-0022
東京都墨田区江東橋2-2-3 錦糸町丸山ビル7F
TEL.03-5625-8411
FAX.03-5625-8414
E-mail:ohba@njk-inc.co.jp
関西支店:〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島1-9-20 新中島ビル5F
TEL.06-6838-8939 FAX.06-6838-8929
九州支店:〒815-0033
福岡県福岡市南区大橋1-8-1 大橋中央ビル2F
TEL.092-554-3000 FAX.092-554-2966

医療法人 皓歯会 岩本歯科
歯科研修会 オーラル クリエーション

歯科医師 岩 本 憲 一
(23回)

〒850-0015 長崎市板馬場2-1-11
TEL (部) 095 (824) 7052
FAX 095 (827) 7329
TEL (直) 095 (822) 3923
(携帯) 090-36081426
E-mail : aai35750@par.odn.ne.jp

Risk management KRC group

損害保険・生命保険代理店
株式会社 K R C
山 崎 孝 (23回)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目7-18 KRCビル
TEL 092-477-5199 FAX 092-477-5499
携帯 090-9793-8166
E-mail t-yamasaki@krc-g.com
URL http://krc.krc-g.com

TRY SYSTEM LAB co.,Ltd.

有限会社 トライ システム ラボ

代表取締役 山 田 俊 郎 (32回)
一級土木施工管理技士 測量士
CG検定2級

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-3-2 澤田ビル3F
TEL 092-415-1805
FAX 092-415-1892
携帯電話 090-8396-6265
E-mail:todo@try-system-lab.co.jp
URL http://www.try-system-lab.co.jp/

縦の繋がり



若杉 英之（5回）

ことを親に感謝していた。今も歌われている校歌「眉秀でたる若人よ」は在学中に作成されたものである。

峰祥躬先輩をはじめとする諸兄の呼びかけで始まった長崎西高福岡同窓会も今年第十一回を迎え、盛会であった。私共5回生の出席者は少なくなったが、引き継がれて来ているのを心強く思う。

ご出席の校長先生より母校の現況をお聴きし、若き学徒が勉学に加えクラブ活動にも意気の豪なるを知り安堵した。

昭和二十八年頃、我々は献身的な素晴らしい先生方に恵まれ、学校に行かせて貰える

老婆心ながら

江口 弘文（15回）



若者の理系離れ、工学部離れが言われ始めて久しい。しかし行政の改革は遅々として進んでいないようだ。「資源の乏しい日本が世界に生き延びていくためには工業立国しかなないのに」と憤慨しているのは大量退職が始まった団塊の世代の技術屋くらいで、日本人の子供の学力低下が疑いもない事実だとはつきりした現在でも、有効な手だては講じられていない。ソ連のスパイトニク一号で宇宙開発競争の緒戦に敗れた米国は、即座に航空宇宙局（NASA）を新設してそれまで陸海空三軍に分かれていたロケット開発を一本化したばかりでなく、同時に、小学校での数学教育から改革したという。若年層の理系離れにもっと切実な危機感を抱く行政があってもいいのでは

いのではないだろうか。我々の世代が高校生だった昭和三十年代当時は現在とは全く様子が違っていた。高度経済成長時代とあいまって工学部人気は沸騰し、エンジニアになることへの憧れが大きかった。しかしいつの頃からかやがて工学部人気は衰退し、代わって人気になったのが医学部である。医学部の人気が長く続く間、工学部人気はいまだに低迷したままである。この原因は一体何処にあるのだろうか。そこでふと思ひあたるのが高度経済成長時代の企業での技術者の使い捨てである。工学部人気の波に乗って企業のエンジニアとして就職した団塊の世代の人たちは、それからの自分の半生を振り返って、果たして満足できているのだろうか。好景気の波に乗って成長する企業の中で、過酷な残業に追われ健康を害した技術者も枚挙にいとまがないだろう。

最近頻発している特許の権利をめぐる訴訟も、技術者に対する企業の姿勢を浮き彫りにしているように思える。技

人一人もそのための努力をしなければならぬ。現在、いろんな意味で日本は危機的状況にある。教育は適確な判断力を養成するためであると小生は理解している。様々な情報がある中で何が真実であるかを見極めるようにしなければならぬ。騙されてはいけぬ。また、天を敬い己を尊ばねばならぬ。日本が世界に誇れるものは何かについて、しっかり考え

この上ないものであった。伝統にはそれなりの深い意味があることを充分に弁え、護つてゆかねばならない。ご承知の如く国歌は「君が代は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで」である。

昭和二十年六月二十三日、沖繩戦における牛島満中將の訣別の辞には、「矢弾尽き天地染めて散るとても、魂還り魂還りつつ皇国護らん」とある。この死闘が日本の降伏条件を緩和し、無条件は取り下げられ、皇室の存続が認められる結果を得たと言われている（岡田幹彦歴史講座、平成二十年六月八日、福岡）。

診療に際し、小生は若人に語りかける。身体は大切にしなければならぬ。大事に扱えば、君のために良く働いて

くれる筈だ。自分の身体だから、無茶苦茶にしてもよいと考えるのは間違いだ。祖先からずっと伝わって来て現在の君があり、更に未来へと伝わってゆかねばならない存在であることを自覚すべきである。「親あって師あって友あってこそ自分がある。ゆめゆめ自力とは思うまい。」

同期生の横の繋がり以上に先輩・後輩の縦の繋がりには重要とさえ思われる。これを大事にしてこそ人は伸び、学校も発展し、国も栄える。同窓会の有する役割は極めて大きい。三年間の高校在籍が縁となり、その後多年に亘り同窓会に参加できるのは誠に有り難いことである。

術者の成果を正当に認めようとはせず「仕事の成果は会社全体のもの、あなたでなくても代わりの技術者はいくらでもいるんですよ」といった企業の姿勢に苦い思いをしながら泣き寝入りせざるを得なかった技術者も多かっただろう。少し乱暴な推論だが、団塊の世代までの技術者は、自分が技術者として一生を過ごしてきたことに本心からの満足が出来ていないのではないだろうか。医者の親は何が何でも子供を医者に育てようとする。弁護士にも似たような傾向が見られるだろう。しかし子供に熱心に工学部を進める技術者は多くはないのではないだろうか。

このこととは別に、近年著しい派遣労働者の急増にも心配がある。最近の求人にはアウトソーシングと呼ばれる業界の企業が目に付くのだ。即ち、労働者を抱えて、大手の企業からのニーズに応じて適当な人材を派遣する会社である。何故このような業界が急成長しているのかと言えば、

ひとことで、大手の企業が正規の社員の雇用を抑えているからだろう。正社員の採用枠を幹部候補生だけに絞って、実際のワーカーは系列企業からの人材派遣で賄うという構図がすでに出来上がってしまっているようである。

しかし一体、技術者のエリート教育は成り立つのだろうか。私はこのことに非常な疑問を感じている。自らコツコツと技術の経験を積み重ねることなく管理業務に追われてきたエリート技術者が、企業に伝統の技術を正しく継承できるとはとても思えないのだ。技術は何と言っても経験である。優秀だとか優秀でないとかの以前に、十分な経験を積んでいるかどうかという本質的な問題があるのだ。

二十年、三十年と一つの技術に携わってきてもやととベテランの域に達していくのが技術の世界だ。管理業務とデスクワークだけで習得した技術は結局のところ本人の血や肉になりきれない。そしてそのことは当のエリート技術者自身が一番痛切に感じているので

はないだろうか。精一杯の設計書を仕上げてどこかに自信がもてない不安を経験するのだ。失敗を重ねながらたき上げてきた技術だけが本人の血や肉となって継承されていくのである。

最近頻発している企業の思いもよらぬ不祥事にも、このベテランの技術者不在の影響が見え始めているように思う。客の安全を最大の任務とするべき航空機や鉄道での極めて初歩的なミスや、食の安全を追及すべき食品会社の自殺行為としか考えようがない不祥事に唖然とさせられている人は私だけではないだろう。

日本の生命線として、優秀な技術者の育成は決して後回しには出来ない死活問題である。アジアの中で日本人だけが特に優秀な民族だった筈はない。団塊の世代あたりまでを生きてきた先人達の必死の努力が現在までの日本を支えてきたのだ。いつまでも安閑としてその恩恵に浴することができると思えるのはあまりにも呑気すぎる、と私は思う。

日本FP協会会員
トータルライフ
コンサルタント(協会専任)

賀川 浩二
大瀬エージェンシーオフィス
チーフ コンサルタント

38 回生

Alico

アリコ ジャパン

アメリカン ライフ インシュアランス カンパニー

福岡市博多区上呉服町10-1
博多三井ビル3階 〒812-0036
Tel: 092-282-5150 Fax: 092-282-6023
E-mail: AG.kegawa.koji@aligo.co.jp
携帯 090-1369-4727

AIG

A Member of American International Group, Inc.

★ 選ばれる会社、選ばれる保険へ

生命保険協会
認定FP

山崎 二郎
九州総支社 天神エージェンシーオフィス
オフィス長

36回生

AIGスター生命

エイアイジー・スター生命保険株式会社

福岡市中央区天神1-12-7
福岡ダイヤモンドビル5F 〒810-0001
Tel: 092-720-6230 Fax: 092-725-5348
E-mail: yamasaki.ji@aicg.co.jp
www.aigstar-life.co.jp
各種ご請求・ご相談先 0120-160-414

A Member of American International Group, Inc.

Garden Hills
Women's Clinic

ガーデンヒルズウィメンズクリニック

理事長：牛丸 敬祥(第18回卒業)

アクセス

西鉄バス天神より50.57.58系統小笹通口下車です。

〒810-0033
福岡市中央区小笹5-15-21
TEL (092) 521-7500
FAX (092) 521-7503
E-mail: tushimaru@gardenhill.jp
http://www.gardenhill.jp

2008 J.LEAGUE DIVISION2 AVISPA FUKUOKA HOME GAME SCHEDULE

アビスパ福岡の熱い戦いに応援をお願いします。

35 9月13日(土) vs. 徳島ヴォルティス 19:00

37 9月23日(火・祝) vs. セレッソ大阪 19:00

40 10月19日(日) vs. 横浜FC 13:00

43 11月23日(日・祝) vs. 愛媛FC 16:00

45 12月 6日(土) vs. 湘南ベルマーレ 12:00

※試合会場は、すべてレベルファイブ スタジアム

アビスパ福岡株式会社
代表取締役社長

都筑 興 (12回生)

〒813-8585

福岡市東区香椎浜 3-21-1

TEL.092(674)3020 FAX.092(674)3022

公式HP <http://www.avispa.co.jp>

©1995 FUKUOKA.BX